

杜の都の街歩きにあたり

冒頭ごあいさつのとおり、今回新たな挑戦として杜の都の街歩きをご紹介します。

私は、普段の健康管理法、思考の整理法としてロードバイク、MTBを活用しております。

鳥の囀り、蝉時雨、頬にあたる風、肌で季節を感じながら海や野山を駆け巡る。

気分転換、体力増進は勿論、爽快感、達成感とともに、思考をめぐらせ、アイデアが次々と浮かぶ貴重な時間として大切にしております。メタボ対策とアイデアの整理を同時にでき、これぞ食べ歩きと対極をなす杜の都の満喫方と考えておりました。

が、この健康法は天候や時間帯に左右され、雨の日、雪の日、凍結時、夜間等、物理的な制約が生じます。このガイドブック作成上も継続したメタボ対策が必要な私にとって、その代替の対応策は必須であり、やむを得ず、街歩きを始めることとなりました。するとどうでしょう、正に目から鱗。今まで見過ごしてしまっていたスポットが突然視界に飛び込んでまいりました。思わず足を止めてしっかりと観察したくなる感覚、仙台にいるうちに何でも知っておきたい感覚に襲われます。興味の対象は尽きず、徒歩の範囲も広がり、次第に、この徒歩の速度感に何とも言えない心地よさを感じてまいりました。

と同時に、市販のガイドブックにはあまり登場しない、一般的に知られていないスポットにも、それぞれに歴史があり、地元の方々にとっての誇りであり、大切にしていかなければならない場所が在ることを知りました。

震災を機に、「これを忘れないうちに、記録として残し、仙台国際ホテルのお客様にお知らせしよう。」という衝動に駆られました。

泉ヶ岳、大東岳、面白山のトレッキング、蕃山、権現森の雪山ハイク、太白山自然観察の森、金剛沢治山の森、青葉の森のウォーキング、二口溪谷から磐司岩を越えて山寺に至るMTBツーリング。震災後難しくなりましたが、閑上から岩沼海岸を経て亘理に至るロードバイクツーリング…。

私の仙台生活 5 年のうちに脳裏をよぎった見所、ぜひお客様にも体験していただきたい杜の都の見所は尽きません。しかし、これらはどれもジモチーの領域。

今回は、ご宿泊のお客様の利便性を考え、私の体験の範囲内で、ホテルから直接歩いても行ける、街歩きコースを 7 コースご紹介させていただきます。

あくまで発端が健康対策ですので、観光とリンクしない面が多々ございます。「B級スポットばかりで、余程の暇人で無い限りは無用のコース」とのご批判は甘んじて受けようと思っております。くれぐれも、いろいろとご検討の上ご活用ください。

各コースの所要時間の目安は 健脚は、早歩きで私が歩いた実際のコースタイム。

通常は、私の家族と歩いたコースタイムを参考に作成しております。

食べ歩きのご予算同様、多少の誤差が生じることをお許し下さい。

また、製作後、私どもの従業員より、このコース自体かなりの長距離すぎる、(一般的ではない。)との指摘を多数受け、白い目線にさらされております。

実際にご利用の際には、体力や時間、天候等を考慮され、エスケープルートやタクシーを含めた他の交通機関との併用等 充分検討されますことをお勧めいたします。

健康には歩くことが一番！

歩くことで、杜の都の別の顔に出会えます。

歩くことで、美味しいものをより美味しくいただける究極のスパイス「空腹」にも出会えます。

それでは杜の都の街歩き、お楽しみ？ください。

愛宕神社、大満寺、大年寺山コース

愛宕神社

ホテル前の東二番町通りを長町方面へ 河北新報社を過ぎ、仙台中央警察署の辺りで後ろを振り返る。壁面にレンガで描かれた特大の地図。ここは陸奥、奥州国を実感！ここで通りを渡り、名門 五橋中学を右手に見て進む。正門前で通り沿いを振り返れば、光通信発祥の地の看板が目に入る。東北大学の偉業に感心！さらに進み広瀬川に架かる愛宕大橋を渡る。 大年寺山と 3 本の鉄塔を眼前にしなが、右手の小高い丘を斜めに登ると大きな朱色の鳥居にでる。ここからが愛宕神社の参道、210 段の長い石段を登る。両脇に続く灯籠は途中から灯の部分が無くなっている。これも震災の傷跡。ハーハー呼吸が荒くなったころ、笠木、貫ともに落ちて、注連縄が渡してある石造りの鳥居を抜ける。と、正面の楼門が気になる。両脇には左に烏天狗、右に大天狗の木像が鎮座。日本最大？聞き捨てならぬ看板がある。覗いてみると、昼間は格子に嵌った硝子に反射し、かなり見づらい、はっきり見たい向きは、内部に灯りが点る夕暮れを待とう。

門を抜けると拝殿の正面にでる。二拝、二拍手、一拝、ここでお参りして、さらに右手の細い道を進もう。眼下に広瀬川、泉ヶ岳・七つ森をバックに仙台市街が広がる。標高 75 メートル ジモチー御用達の展望スポット。仙台城址に飽きた向きにお勧めだ。

大満寺

奥に進むと大満寺虚空蔵尊の広場に出る。ここは十二支広場と呼ばれ、十二支の石像が出迎えてくれる。お坊さんと木魚の上にびよこんと乗った子。福の文字の入った瓢箪に乗った蛇、何故か牛は銅製、撫でられた鼻の部分だけがツルツルと滑らか・・・こんな具合にどれも愛嬌があり面白い。中央に 縁結び 千躰観世音菩薩 と記された 千躰堂がある。中には 仙台の地名のルーツとの説もある千躰佛が祀られている。 右手の鐘楼堂の梵鐘。これがなかなかの優れもの。 ナムシステムと呼ばれる自動鐘撞きシステムが装備され、夕方 5 時を廻るころ、突然稼動する。ぼーんー と ほぼ 30 秒毎に 20 回程 どういう仕掛けで鐘が撞かれるか？ 興味のある方は是非近くでご覧あれ。

さらに虚空蔵尊にお参りして、銅鑼のような鐘をたたき、右後方を振り返ると、またもやお堂が、八角堂である。 ここには十二支の守護佛、千手観音菩薩、虚空菩薩、文殊菩薩、勢至菩薩、大日如来、不動明王、普賢菩薩、阿弥陀如来の八体の石像が祀られている。自身の干支に合わせてお参りしよう。

大年寺山

さて、ここで石段を下る。下りきると右手に大満寺の本堂を見ながら、真っ直ぐ、越路から八木山方面への大通りに突き当たる。左折し、信号を渡り、さらに道なりに、斜め右、急勾配のガードレールのある狭い舗装路を登り、大年寺山を目指す。

登りは少々きつい。汗がうっすら滲んだころ、テニスコートを過ぎた角を左折。

間もなく視界が開け、大年寺公園の西側に出ると、眼前に白い大きな鉄塔が迫る。135m、宮城テレビ放送のテレビ塔だ。遊歩道を進むと、地割れの跡が、見上げると塔の天辺、アンテナ部分が北側に幾分傾いているのが判る。これも3・11、南北の強い揺れによるものだ。このテレビ塔、震災前は翌日の天気予報が晴れなら白、曇りはオレンジ、雨または雪は緑とライトアップされ、夜景の重要なアクセントとなっていた。現在は節電により、中断されている。

塔の脇を進むと左手に鬱蒼とした木々に覆われた土塁、仙台藩4代藩主 伊達綱村 以後の伊達家の墓所である。正面、鉄柵の門から覗いてみると、墓石は震災で無残に倒され、其々組みなおしのための番号が貼られている。墓所を一周すると、木々の合間から仙台市街の眺望が得られる。

草に覆われた高台へとすすむと、屋根のついた休憩所。遠く太平洋、荒浜から閑上、岩沼までの沿岸を一望できる。こんもりと海岸線を覆っていた防潮林は見る影もなく、まるで櫛の歯が欠けるがごとく。大津波の爪跡が痛々しい。

さらに奥へ、右手の茂みの中に、ともすると見過ごしてしまいそうな「前進」の文字 河北新報社 2代社長 仙台市名誉市民 一力次郎氏の偉業を讃えた碑がある。

さらに進み、バスターミナルを越すと、NHK仙台放送局、東北放送、東日本放送の3社共同テレビ塔、150m、2001年に立て替えられグレーに塗られた新しい造り、こちらのライトアップは無い。

仙台市野草園

右手に仙台市野草園 1954年開園、大年寺山の北斜面を利用した95000 m²の広い園内で、散策の他、草花との触れ合いが楽しめる。名前の通り過剰に手は入れられていないが、モミ林、アカマツ林、コナラ林などから構成され、東北地方の高山から海岸まで野生している代表的な植物が植栽されている。仙台市の花 萩が14種、萩のトンネルもある。開園期間は3月20日～11月30日、散策しながら季節の草花の移ろいを感じることができる。

この辺で疲れた向きは、バスでエスケープを。仙台駅方面は概ね1時間に2本程。予め発車時刻を調べて、野草園で時間調整するのも良い。

登り返しに挑戦

さあ、健脚はさらに深みを目指そう、その先のオレンジ・白のツートンで塗られた塔が仙台放送とDate FMの電波塔、125m。ライトアップ時には1時間毎に照明が変化する仕掛けがあった。この3本の電波塔と八木山の東北放送120mを加えた4本中3本のテレビ塔ライトアップは、仙台の夜景を彩る重要な位置を占め、新幹線の車中から見える仙台到着のランドマークとして、第10回仙台市都市景観大賞を受賞した。一日も早い復活が望まれる。

仙台放送の電波塔を過ぎてすぐ、東北工業大学長町キャンパスの構内路に入る。大年寺山の南斜面、八木山、長町方面、遠く太平洋を臨む心地よい下りだ。大学構内から出て左折、しばらく行って、調剤薬局の角を左折、水路際の道を進み、理容室を左折、3つのテレビ塔を左手に見ながら、国道 286 号線を左折し、大年寺山を周り込む。歩道をしばらく進むと大年寺の案内看板、ここを左折、急斜面を登り、大年寺惣門に取り付く。江戸時代中期建設とされる本瓦葺、切妻造りの立派な門である。

さて、今日のクライマックス、力を振り絞って、275 段の長い石段を登り返そう。

やっと登りきったところで前進の碑に出る。宮城テレビの塔の手前を左に入り、ここからは、来た道を戻る。大満寺虚空堂尊への石段 185 段が最後の登り返し。

個人的には 17 時に辺りが暗くなる冬がお勧めだ。大年寺山からの帰り道、鐘の音を聞きながら、ポーッと灯籠に照らされた大満寺虚空堂尊への石段を登る。広場に出るとパッと開ける夜景のスペクタクル、趣深い夕暮れを味わえる。

石段を 3 度登り返す、標高差 300m 以上の変化に富んだ、私一押しのコースだ。

所要時間の目安

	通常	健脚
ホテル～愛宕神社	30 分	20 分
愛宕神社～野草園	45 分	25 分
野草園～大年寺惣門	55 分	30 分
大年寺惣門～大満寺虚空堂尊	45 分	25 分
大満寺虚空堂尊～ホテル	30 分	20 分

全行程 205 分 120 分

※ 所要時間には野草園の散策時間は含めておりません。

仙台城址から八木山コース

まずは瑞鳳殿

ホテルから東二番町通り北目町通りの交差点を渡り、ウエスティンホテルの脇を進み、北目町の交差点を渡る。正面に大きな「魚」の文字、ジモチー御用達「活きが良いと評判の魚屋さん「旭屋 佐藤本店」を右へ、ダンス衣裳の店を左折。左手に東北大学片平キャンパス、右手に金属材料研究所を見ながら進む。この辺りは青葉山と並び、東北発「世界の頭脳」の集積地帯。T字路の信号を渡り、右へ、カフェを何軒か過ぎたころ、広瀬川が見えてくる。程なく階段、ここを下る。左手に広瀬川、右手にテニスコート、野球場を見ながら進み評定河原橋へ、この橋を渡ると5分程で瑞鳳殿に至る。

瑞鳳殿は伊達政宗の霊廟。仙台城址と合わせ、杜の都観光の目玉スポット故、詳細は各種ガイドブックに委ねるが、私見では日光東照宮のミニ版といった趣き。

東京圏のミニ版現象？杜の都ではこの関係が至る所に散見される。東京圏にあるものは全て存在、それも程よくコンパクト。杜の都の立ち位置を考えるうえで、この関係は見逃せない。設えは縮小版でも、志は高く！大きく！これぞ杜の都の心意気！

側の瑞鳳寺、朝、夕6時に鐘が鳴る。こちらは自動ではなく人の手によるもの、趣が一層深まる。ご住職、ご苦労様です！

仙台城址へ登ろう

仙台城址へは来た道に戻る。評定河原橋を再び渡り返し、自然地形を巧みに利用した仙台城の天然崖を左手に野球場を右手に見ながら下つてのぼりを返す。信号のあるT字路を和菓子の名店「森の香本舗」側に渡って右へ、蕎麦屋の角を左折し、しばらく行くと広瀬川に架かる大橋に至る。

ここで広瀬川を渡り、杜の都を実感しよう。思わず青葉城恋唄を口ずさみたくなる。川にそよぐ風が心地よい。この大橋、震災時には金属製の街路灯が多数倒れる惨状であった。中央右手にその痕跡を見ることができる。橋を渡りきり信号へ。仙台市博物館を取巻くように配された、三の丸のお堀、フィギアスケート発祥の地とされる五色沼と長沼。以前、仙台城址へは長沼で野鴨に餌でもやりながら、裏から登るのが私の定番コースであったが、現在は通行止め。仙台市博物館の裏手からも登れるが、まずは観光の定番、真っ直ぐ歩道を登り大手門脇の櫓を目指そう。櫓にたどりつくと、右手には支倉常長像。1613年 伊達政宗の命により慶長遣欧州使節団としてローマに至る。地元では、この時代にヨーロッパに目を向けた偉業を知らぬ者無し。奥州国こそNO1の象徴、英雄だ！ さて、櫓を左に曲がる。ここは震災前、仙台城址に至る車の主要道。途中石垣が崩落したため、現在は歩行者のみ通行可となった。車道を登り始めると両脇の杉並木が心地よい。と、シートで覆われた石垣、大きく積まれた土嚢、立ち入り禁止のフェンスが目に入り、痛々しい。その間を通り沢門跡に至る。仙台市博物館裏からのコースはここに出る。両脇の石灯籠 震災時

には笠の上のわらび手の部分が落下した。現在は修復されているが、幾分か傾いて見える。ここからしばしの登り。最終コーナーを右に曲がるころ、また左側に倒壊した灯籠に出会う。左手に仙台城本丸の石垣が高くそびえる。万が一の崩落に備えて、現在歩道部分が通行止め、触れることはできない。

程なく、宮城護国神社の銀色の大鳥居にでる。仙台城址の入り口だ。以前、市内周遊バスループルのバス停として観光客が列をなしていたところである。現在これから先が通行止めのため、バス停は西のアズキ色の大鳥居脇となっている。

鳥居を潜り、いよいよ仙台城址へ、仙台一の展望台 眺望はすばらしい。遠く、船形山、泉ヶ岳、七つ森の山々から、東方に開ける太平洋をバックに仙台市街が一望できる。定番の撮影スポット「伊達政宗騎馬像」はあまりにも有名。伊達武将隊も出沒、運がよければ出会えるぞ。騎馬像の後ろに控えていた「昭忠塔」地上 20 メートルの石造りの土台に、6.7 メートル 1.7 トンの羽を広げた青銅製の鳶は、震災により崩落、ビニールシートを被りながらも羽の一部らしき残骸が見られる。

ここで引き返す向きには、この他、宮城県護国神社、本丸会館 仙台城CGシアター、仙台城見聞館 等で時間調整をすることもできる。

帰りに仙台市博物館に寄り、杜の都心の礎、伊達藩研究をするのもお勧めだ。

八木山

これでは飽き足らぬ健脚は、いざ八木山へと参いらうぞ！

仙台城址をさらに奥へ、アズキ色の大鳥居を潜りさらに進むと、駐車場の出口、通りにぶつかり、ここを左折、道なりに下る。八木山橋を渡る。標高差 70 メートル断崖絶壁の竜の口峡谷、絶景を見ようと欄干に顔を寄せると、高いフェンスが邪魔してどうしても見づらい。何やら名所らしき懸念がよぎる。ビンゴ！心霊スポットとしても有名で、オカルトマニアの聖地となっているとか？とり憑かれないよう足早に通り過ぎよう。前方に観覧車を見ながら橋を渡りきり八木山へ、何回か曲がり道を登る。

八木山ベニーランド 仙台市八木山動物園

登りきったところ左手のフェンス越しにローラーコースターが見えてくると、思わず口ずさみたくなる調子のよい歌が…「ヤンヤンヤヤーン、八木山のベニーランドででっかい夢が…」いったい何の唄？ 知らない人はモグリ、ジモチーをたちまち昭和 40 年代、高度成長期の郷愁へと誘う「八木山ベニーランド」のテーマソングだい。替え歌まであるそう？興味ある方はユーチューブでどうぞ。

このベニーランド、昭和 43 年開業 東北初の総合遊園地。心和むスポットである。

4 月中旬 園内所狭しと咲き誇る桜は圧巻。

この右手が「仙台市八木山動物公園」動物園とは子供のためのスポットと思いきや、どうして大人もけっこう楽しめる。定番のサル山には 滑り台、メリーゴーランド、縄梯子や

ロープ等、公園さながらの遊具が用意される中、餌やりして遊ぶのも面白い。専用の餌は自動販売機で 100 円、サルと戯れ童心に帰る。これまた心和む時間を過ごせる。

大鷲や鳶等 猛禽類への餌付も興味深い。こちらは飼育員の仕事だが、二十日ねずみを丸ごと放る。爪で押さえつけ、皮を引き裂き、腸を引き出し内臓から食らう。野生のパワーに圧倒！本能のままに食う姿。これこそ食べ歩きの原因か？

この他 ライオン、トラ、ホッキョクグマ等 舎に今風の作りが施され、硝子を多用し、水中の姿や、より近くの生態を観察できる。

案内図にバيبルース像を見つける。八木山に？何のことやと訪ねてみると、この地は嘗て野球場と判明。1934 年日米野球にて バيبルースが日本初のホームラン 1 号、2 号を記録する。像の側には ここが来日初ホームランの落下地点です。との表示在り。

こんなことをしているといくらでも時間が潰せそうだ。

さて、動物公園で疲れた向きは、ここらでエスケープ。ここから仙台駅方面へは 1 時間に 3、4 本のバスあり。

もう一息

健脚にはさらにお付き合いいただく。

ベニランドを左に見ながら、歩道を進む。程なく鉄塔が、東北放送本社。この鉄塔、震災前は 上段・青、中段・オレンジ、下段・緑と 3 色のライトアップが夜空を彩っていた。鉄塔の足元には「ウォッチン畑」稲、野菜、草花が栽培され、地元放送にも登場する。

この辺も桜のシーズンのビューポイント。

さらに進もう。左手に白い門構え、ゲストハウス アートグレイスウエディングフォレストの脇から八木山の住宅地を抜ければ、瑞鳳殿方面にショートカットできるが、こちらはジモチーの領域、おとなしく真っ直ぐ進む。七十七銀行八木山支店で左カーブ。ここを左に折れず、真っ直ぐ進めば 10 分ほどで大年寺山に至るが、今回は素直にカーブに沿い、道なりに下る。右手に向山高校が見えると、まもなく T 字路、向山 2 丁目交差点。左右どちらに曲がってもホテルに行き着くことができる（右折すれば大満寺に行き当たる。）が、ここを左折、瑞鳳殿方面へ、左手に 鰻の名店「ての字」がひっそりと佇む。

さらに進み右カーブ、視界が開ける。ここからは広瀬川を眼下に仙台市街の眺望をたのしみながら下ろう。真っ直ぐ行けば瑞鳳殿、評定河原橋に行き当たるが、霊屋下の T 字交差点、信号を右へ、霊屋橋を渡る。途中、青葉山の断崖絶壁に棲息する鳶が群れをなして舞っている光景をしばしば目にする。地元では当たり前だが、都会に隣接しながら猛禽類が舞う光景、新鮮である。バターのいい香りがしてきたら「Kent さんのクッキー屋」さん。さらに道なりに進み T 字の交差点を左折すれば右手に東北大学片平キャンパス。往きに来た道、ホテルはもうすぐだ。

所要時間の目安

	通常	健脚
ホテル～評定河原橋	35分	20分
評定河原橋～大手門脇櫓	30分	15分
大手門脇櫓～仙台城址	20分	10分
仙台城址～八木山動物公園	30分	15分
八木山動物公園～向山2丁目	45分	25分
向山2丁目～霊屋下	20分	10分
霊屋下～ホテル	30分	15分

全行程 210分 110分

※ 所要時間には瑞鳳殿、仙台城址、八木山動物公園、ベニーランド等の散策時間は含めておりません。

定禅寺通り、大崎八幡宮、亀岡八幡宮、青葉山周遊コース

まずはアーケード街へ

東二番町通りを街の中心部へ、南町通りを越えて青葉通りまで、右手に七十七銀行本店、地下道をクロスして、6番出口、グッチの入ったファーストタワービル側にする。アーケード街 マーブルロードおおまち に入ろう。仙台の目抜き通り、七夕飾りの会場ともなる。暫く進み左手にヴィトンやロエベのショーウインドーが見えてきたら、藤崎百貨店。もうお気づきだろうが、奥州国では、新聞は河北新報、銀行は七十七銀行、百貨店は藤崎が定番。この辺りは毎年、初売りには長蛇の列を成す。

仙台初売り

仙台初売りは旧仙台藩内の伝統行事。江戸時代からの商習慣として国から認められ、特例として他地域より、豪華な景品も可能。佐世保とともに全国的に有名である。

百貨店の初売りは一般的だが、仙台は特別、規模、お得度共にダントツだ。1月2日 早朝アーケード街に留まらず、街全体が異様な活気に包まれる。仙台商人の心意気！ 2万円の福袋の中身はなんと50万円越え！なんて例もある。グループで買い求め、その場で交換会を開く輩まで現れる。新幹線代、宿泊代を差し引いてもお得な「杜の都発、伝統的エンターテイメント」一見の価値あり！

さて藤崎を右折、ぶらんどーむ一番町アーケードに入る。この通り、光のページェントを迎える頃にはツリーや多彩なイルミネーションが飾られる。右手にはお茶屋の老舗「井ヶ田本店」。ここも初売り時は茶箱を求める長蛇の列ができる。程なく広瀬通りに行き当たる。

仙台的カオス

右手のフォーラスは流行に敏感な若者向けファッション系のテナントビル。奥州国を侮ることなかれ、ヨーロッパを中心に展開し、東京進出を伺う新進ブランド「Desigual」のアンテナショップも入ってるぞ。さらに広瀬通りを渡り一番町四丁目のアーケード通に行く。左手にドラッグストア、パチンコ店、餃子の王将と続く中、突然、フィレンツェ発の香りと癒しの高級店「サンタマリアノヴェッラ」発見！ このへんが仙台的カオス。

カオスついでに東一横丁もおもしろい。右手のドラッグストアのダルマ、そばの神田、ポーラ化粧品の間を歩いていく路地。雑多な飲食店がひしめく中、ゴジラ、ガンダム、ウルトラマン・・・正義の味方も悪の権化もフィギアで大集合「G対策本部」。この他マニアックなワインバー「バオバブ」もあるぞ。映画ゴールデンランバーでは主人公が転びながらこの通りを駆け抜けていったシーンが印象的だった。

定禅寺通り

横丁を過ぎて全国区の百貨店、三越を見ると、間も無く定禅寺通り。幅 46m 中央分離帯は遊歩道となっており、歩道側を含め 4 列の立派なケヤキ並木が約 600m 続く、杜の都の象徴である。

12 月の光のページェントや 9 月のジャズフェスティバルの他、七夕、青葉祭り等、様々なイベントで、路上パフォーマンスやパレードの舞台となる。

特に 5 月、新緑の季節は素晴らしい。爽やかな風と目にも鮮やかな緑から零れる光、至福の散策を味わえる。

左折して西方向へ、国分町通りを渡り、せつ子ママの店や、晩翠通りを渡り、ピザの名店「ナプレ」、ジモチー御用達スイーツ「甘座」などを見ながら進むと西公園通りに至る。

反対側の歩道へ渡り、建築デザインで有名な仙台市の文化施設、メディアテイクなどに立ち寄りながら散策するのが一般的。杜の都入門には定番の観光コースだ。

大崎八幡宮

さて、余裕のある方は、もう少し奥へと進もう。西公園通りに沿って、北へ向う。

右手に和菓子の大御所「賣茶翁」さらに進んで左手ファインテックビル 2F、おはぎとお新香の店「たちばな」と思いきや震災後閉店、残念！ などを見ながら T 字路の大きな交差点、北四番町通りに行き当たる。正面に東北大学医学部附属病院、東北発 世界的医学研究の発信地だ。ここを左折、左手にジモチー御用達ハンバーグ「レストラン はせくら」を見たら、ひたすら真っ直ぐ進む。やがて右手に大鳥居。国宝大崎八幡宮。鳥居を潜ると、ここでも震災の影響、石段の両脇の大灯籠が崩落。97 段の石段を登る間も灯籠の崩落を目にする。三度鳥居を潜り、広く、木立に囲まれ、気持ちの良い表参道を歩く。長床と呼ばれる重要文化財の古い門を潜ると国宝指定の本殿に出る。絢爛豪華な桃山様式、日光東照宮につながる権現造りの現存最古の建造物だそう。拝殿内部には狩野派の絵師、佐久間左京の作とされる障壁画や格子天井に草花が描かれている。屋根周りは、平成 12 年より大規模な保存修復工事が行われた。こけら葺きと言われる木材の薄板を張り合わせて作られた屋根、随所にきらびやかな装飾金具が取り付けられた梁や破風、極彩色で再現された彫刻等、あまりにも鮮やかな色彩。これと好対照をなす漆黒の壁のコントラストに驚かされる。

さて、大崎八幡前からは 5 分から 10 分毎に仙台駅方面にバスが出ているので、エスケープするのに便利。

三居沢

健脚はしばしお付き合いいただきたい。

鳥居から右手の交差点を渡り、三居沢、川内方面へ下る。暫く行くと牛越橋、広瀬川を渡る。景色が開け、風が心地良い。この付近も名所の一つ。秋には鍋釜を持った多くのグル

ープが河原に繰り出す。芋煮会、杜の都の風物詩。

橋を渡りきったところでちょっと寄り道。T字路を右折し道なりに、東北電力三居沢発電所。日本初の水力発電所で現在も稼働を続けている。側には電気百年館があり、東北における電気の歴史、発電のメカニズム等を紹介している。東北で初めて電球が灯った時、人々は狐の化かし火と大騒ぎになったそうな。入り口右手の東北の電気歴史年表には明治三陸津波、昭和三陸津波、宮城県沖地震が大きく記され、改めてこの地と地震の関係を考えさせられる。

亀岡八幡宮

さて次なる目標は亀岡八幡宮。川内方面に歩を進め、左手に焼肉屋さんが見えたら、斜め右へ、さらにT字路を右へ、亀岡駐在所の右に鳥居が見える。伊達家の氏神と記された看板。説明によると松尾芭蕉も参拝したようだ。朱色の欄干の橋を渡ると、石段に圧倒される。芭蕉の頃を偲ばせる本殿は戦災で消失してしまったが、この古びた石段、手を入れず、ところどころ傾いたところが、何とも言えず趣深い。

さあ、今日のクライマックス、343段を一段一段味わいながら登ろう。

息を切らしながら登りきり、お参りしたら、左手の裏参道を進む。道なりに左に廻りこみ通りにでる。左に下れば、川内を経て広瀬通りに至る。

さらに青葉山へ

せっかく稼いだ位置エネルギー、もっと有効利用しましょう。ということで右折、もう少々登りを加えよう。右手に成田山、仙台武家屋敷の看板を見つける。寄り道してみると、成田山仙台分院 屋上には 日本一高いお不動様、日本一大きな不動明王 というキャッチコピーのある 不動明王坐像が鎮座している。武具、ジオラマ、美術品の展示までである仙台武家屋敷は現在震災の影響で閉館中、残念。

さて、さらに東北大学理学部裏、土留めのコンクリート壁を左手に見ながら進むと、何やら熟成されたブルゴーニュの匂いが？正体は東北大学馬術部の厩舎。窓から頭を覗かせている馬も数頭見える。程なくT字路にぶつかり、左折、情報部、情報科学研究科を廻り込み信号にでる。真っ直ぐいけば東北大学川内キャンパスを経て、広瀬川方面であるが、ここを右折、対面に渡り、工学部方面へ。広く気持ちのよい並木道を進む。世界に発信する日本の頭脳の集積地を歩こう。東北大学植物園の青葉山ゲートを経て、やがて仙台城址裏手の駐車場に至る。

所要時間の目安

	通常	健脚
ホテル～定禅寺通り 西公園	40分	25分
定禅寺通り西公園～大崎八幡	40分	25分
大崎八幡～三居沢	20分	10分

三居沢～亀岡八幡	20分	10分
亀岡八幡～成田山	10分	5分
成田山～東北大学青葉キャンパス	20分	10分
東北大学青葉キャンパス～仙台城址	40分	25分
仙台城址～ホテル	50分	30分
全行程	240分	140分

※ 所要時間には大崎八幡宮、三居沢電気百年館、亀岡八幡宮、成田山、仙台城址等の散策時間は含めておりません。

東照宮、北仙台、北山五山コース

東照宮

ホテルより仙台駅のペデストリアンデッキへ、パルコの左脇を抜け、アエルを抜け、広瀬通りを渡る。そのまま歩道に降り立ち、直進。左斜め前方に見える高いビルは東北電力本社。SKB 仙台国際美容専門学校の大きな看板のある定禅寺通りとの交差点を右折、宮町通りへ。左折した後は直進あるのみ。北四番町通り、北六番町通りを越え、さらにJR仙山線を越えると、石造りの大鳥居、仙台東照宮だ。1654年伊達藩二代藩主 伊達忠宗公が徳川家康公を祀る。東照宮といえば日光と思いきや、どうしてどうして、仙台にもあるのです。この他、輪王寺、成田山、仙台銀座、仙台浅草、三社祭りまである。奥州国恐るべし。

神橋に見立てた朱塗りの橋を渡り、参道を進む。石段にかかると、ここにも震災の影響が。上に行くほど、灯籠の崩落が目立つ。隨身門と言われる楼門を潜る。銅瓦葺、入母屋造りの屋根、重厚な造りだ。両側に刀、弓矢を持った隨身像が安置されている。瑞鳳殿や大崎八幡のような派手さはないが、なかなか渋い味があります。正面の拝殿は火災で焼失、復元されたものだが、本殿、唐門、透塀は 創建時のもので隨身門とともに国指定の重要文化財。本殿はフェンスに囲まれ遠目にしか見えないが、金の獅子の飾り等、屋根周りに豪華な装飾の片鱗が見て取れる。毎月第4日曜には骨董品、美術品から生活雑貨品まで、骨董市が開かれ、賑わう。桜のシーズンは必見！参道の両脇に咲き誇る様は絵になる。参道をもと来た方向へ、仙山線の踏切手前を左に曲がればJR東照宮駅。

北仙台へ

踏切りを渡り、信号を右折、北六番町通りを暫く進もう。右手に何時でも行列、11時の開店と同時に売切れると評判の洋菓子店「トゥ レ ジュール」を見て、愛宕上杉通りを渡る。鬱蒼とした木立に囲まれた一角は東北大学農学部、バイオ研究の中心地。次の信号をこの一角を廻り込むように右折、真っ直ぐ歩こう。やがて大通りにでる。左手に北仙台カトリック教会の立派な建物を見ながら、通りを渡り直進。と、右手に仙台浅草の看板。何故浅草と思いきや？ 1950年代後半、日用品の市場として開かれた横丁。東京の浅草のような賑わいをと名づけられたようだ。現在はスナックや居酒屋の夜系が中心。何やら怪しげな、開運十二支のお守り本尊堂、観音堂がある。

さて更に進み信号へ。左に鋭角に曲がるようにして道なりに。北山五山を目指す。

エスケープする方は信号を右へ。JR仙山線、仙台市営地下鉄の北仙台駅に行きあたる。

北山五山

北山五山とは北山丘陵上に位置する五つの仏閣のこと。仙台城の鬼門を守るとの意味の他、奥州街道、根白石街道の関門として城下町の北の守りとされてきた。どれが五山に当るか？

歴史的な変遷を遂げながら諸説入り乱れているが、今回は、光明禅寺、東昌寺、覚範禅寺、資福禅寺、輪王寺をもって五山巡りとしていきたい。

光明禅寺

道なりに進めば、通りの右手に次々と神社仏閣が登場する。まずは光明禅寺。入り口脇に支倉常長の墓所とあり、これは捨て置けない。門を潜り本堂の左脇を抜けると、左手に支倉常長の墓所。石を積み上げただけの質素なもの。晩年の冷遇が偲ばれる。側にローマに同行したソテロの墓もある。支倉常長の墓所については諸説あり、この他、川崎町、大郷町、宮城県内に3箇所存在するとされている。

東昌寺

さらに進んで東昌寺、13世紀伊達郡に創建された歴史のある寺。移封を繰り返し、1600年 仙台城築城とともに北山に至る。寺領として300石を与えられ、仙台藩が定めた最高の寺格を有した。明治に入り藩の保護が失われると、隣の青葉神社に境内の西半分を譲る。何やら伊達藩威光の盛衰を絵に描いたような？仙台的観光スポットにはこのパターンが多いのですよ。火災に遭い現在の本堂は明治に入ってからのもので、この見所は本堂右奥の大きな樹木。カヤの一種でマルミガヤという。通常カヤの実は楕円形をしているが、これは、まん丸な実をつけるという。国指定天然記念物。

青葉神社

隣は青葉神社、石造りの大鳥居が崩落し参道の石畳には亀裂。灯籠は石造り、銅製共に崩壊が見られるが、石段、参道のアプローチ、両脇のこんもりと生い茂る木々等、威風堂々とした構えである。糺してみれば、元は仙台城内にあったという説在り。仙台五大イベントの一つ青葉祭りは、当社の春の大祭に由来する。現在の宮司は仙台藩家老・白石城主片倉家の16代当主である…。次々と由緒正しき諸説が？ ゲーム戦国BASARAのヒットにより、登場キャラクター片倉小十郎の子孫に会うことを目当てに当社を訪れる歴女が増加中だとか・・・青葉神社を侮るでない！ ここの桜のビュースポット。

覚範寺

遠山覚範禅寺の側に藩祖政宗公生母保春院殿御墓所の碑在り、またもや捨て置けない。舗装路のアプローチはやがて石段となり、仁王様に睨まれながら山門を潜る。さらに両脇の愛くるしい達磨を抜けると、立派な入母屋造りの屋根が目を引き本堂。白壁は新しくRC構造か？この近辺は1876年の北山大火により、大半が焼失したことが判明。残念。本堂の左手奥が政宗公生母保春院の墓所だ。側に政宗と弟小次郎をめぐる保春院（義姫）との確執が解説されている。

資福寺

さて覚範禅寺をあとにし、次は慈雲山資福禅寺。

両側の鬱蒼とした樹木、石段に到達。上っていくうちに、迫り出した草木に石段までもが覆われ、歩くのにも苦勞する。何を隠そう　ここは仙台の紫陽花寺。　7月初旬には、寺社内を満開の紫陽花が埋め尽くし、たくさんの人で賑わう。シーズンには是非とも訪れたいスポットだ。

輪王寺

そして取りは輪王寺。黒い柵状の門脇に、藩祖政宗公御息男竹松丸殿御墓所、正室愛姫御母堂御墓所とある。ここも伊達家との関わりが深そうだ。1441年開山、伊達家の居城の変遷とともに移動を繰り返し、現在地には1602年伊達政宗により移封、これを輪王寺六遷と言うそう。

全て丸柱を使用した切妻造り総瓦葺きの山門、両脇に仁王様が睨む。古びているが、どことなく威厳を感じる。北山大火にも焼け残った。仙台市指定の重要文化財。

石畳の参道、以前の写真を見ると、杉並木の威厳ある造りであつたが、現在は造り直され、両脇に13の石仏を配する。阿弥陀如来、普賢菩薩・・・大満寺より5体多いぞ。

石段を上ると本堂。大火で失われ、明治9年に再建された。

本堂右手に庭園との案内を見つけた。　回転式ゲートに300円を入れ入園。

池を中心に、石灯籠、橋、茶室等を配した回遊式の純日本庭園。左手に三重の塔まである。

4月末～5月初旬の桜、5月末～6月のつつじ、6月末～7月初旬の花菖蒲、6月～8月の水仙、10月中旬～11月の紅葉が見頃とか。

池には鯉が飼われ、人が近づくと口をパクパクして寄ってくる。餌はゲートで100円で売っている。　見頃に合わせて散策しよう。

この北山五山、全て100段程度の石段を上る。青葉神社も入れれば、約600段、運動になりますよ。

さて、もうこのへんで充分という方は、輪王寺を右に廻りこめば　JR北山駅　エスケープできる。

健脚は歩いて帰路に

青葉神社まで引き返し、青葉神社通りを右折。この青葉通りは、定禅寺通りを越え、国分町通りと名称を変える。北六番町通りを越え、一つ目の信号、柏木一丁目3の交差点は要チェック。タバコ屋を左に曲がると。ジモチー御用達パン屋「バーニャ」がある。バケツトやカンパーニュはもちろん、ライ麦パンや、胡桃、レーズン、イチヂク等の入ったメランジェの類。どれもズッシリと重く、素朴な中にしみじみ美味しい。ヨーロッパ系のパン好きにはこたえられない逸品。土曜、月曜限定のチーズケーキ。水曜、木曜限定のシュトレンも癖になる。鉤取の「オーフルニルデュボワ」、県庁裏の「ル・タン・リッシュ」と

ともに、杜の都のブーランジェ界を騒がす。

寄り道ばかりしないで先を急ごう。北四番町通りを過ぎ、二日町へ、右手に、仙チョン族御用達の居酒屋「しばた」を見て更に進むと、左手 はんこ屋のとなりに 得心の一杯「中華ソバ 嘉一」がある。定禅寺通りはもうすぐだ。

所要時間の目安

	通常	健脚
ホテル～東照宮	55分	35分
東照宮～北仙台分岐	50分	30分
北仙台分岐～光明禅寺	3分	2分
光明禅寺～東昌寺	10分	7分
東昌寺～青葉神社	3分	2分
青葉神社～覚範寺	5分	3分
覚範寺～資福寺	3分	2分
資福寺～輪王寺	3分	2分
輪王寺～青葉神社	10分	5分
青葉神社～定禅寺通り	35分	20分
定禅寺通り～ホテル	35分	20分

全行程 212分 128分

※ 所要時間には東照宮、北山五山、青葉神社等の散策時間は含めておりません。

仙台駅東口コース

アンパンマンこどもミュージアム

ホテルを出てペデストリアンデッキに上り仙台駅へ、右手東口への自由通路を抜ける。左手の階段を下り、B I V I を正面に見ながら駅前ロータリーを右に廻り込む。東七番町通りを渡り直進、一つ目の信号、代々木ゼミナール、セブンイレブンの角を左折、左手に七十七銀行仙台東口支店を見ながら、東八番町通りを直進。暫く行くと、右手に薄茶色のレンガにアンパンマンの顔。仙台アンパンマンこどもミュージアム&モールだ。

こども と付くだけあって、まさに小さいお子さんのワンダーランド。1階がアンパンマン関連グッズのショッピングモール。2階がミュージアムとなっている。

2階はミュージアムと言うより 子供の遊び場。パンこようじょうのおか、みんなのまち、たんけんランド、ボールパーク、虹のすべりだい…キャラクターがちりばめられた遊具がいっぱいだ。やなせたかし劇場ではミニステージやアニメの上映がある。ミュージアムショップでは下のモールでは買えない限定品を販売している。

子供専用のトイレに迷い込んでしまった。どれもかわいい便器。ただし大人は使用不可。

1階中央のアンパンマン広場でミニステージが始まった。2階ミュージアムのデッキからも見えるが、近くで見ようと1階に降りるにはミュージアムを出なければならない。再入場不可であるのでご注意を。

1階は おみやげ と たべものやさん のショッピングモール。こちらは入場無料。

アンパンマンの手芸用品にオリジナルの名前を縫い付けてくれる バタコさんの手作りハウス、キャラクターを形どったパンを売ってる ジャムおじさんのパン工場。海苔をキャラクター型に抜いた、おむすびが人気 ふっくらごはん工場。……

1階のショップを探索するだけでもけっこう楽しめる。

宮城野通り

さてミュージアムを出たら元来た仙台駅方向へ、代々木ゼミナールを右手に見る交差点を左折、宮城野通りを行く。この通り、仙台駅前からクリネックススタジアム宮城方向へ1.6 km、駅東口の中心となる大通りだ。1990年全線供用、今も整備が進む仙台駅東口土地区画整理事業の口火をきった。両側の歩道部分と中央分離帯にケヤキ並木。広い歩道部分には小さな水路や噴水、モニュメント等が設けられ、公園のように整備されている。

足元には、ところどころ大理石に宮城野を詠んだ歌が彫られている。最近、クリームゾレッドに塗られた自転車道も整備され、楽天にちなみイーグルロードと名づけられた。

定禅寺通りとは趣の異なる、気持ちの良い散策ができる。

榴ヶ岡天満宮

榴ヶ岡4丁目の交差点で大きな通りを渡り慈恩寺を左へ、ミニストップを右折すると、

杜の都の天神様、榴ヶ岡天満宮。両側に立派な狛犬がお迎えする。何故か？ 東が咩 で西が阿。石段を上り、鳥居を潜る。境内を囲うように配された、和歌や俳句を詠んだ碑が目目を引く。本殿に向う途中、右手に撫で牛。 ご参詣の皆様、この牛を撫でて、菅原道真公の御徳をお称え下さい。とある。石像は鼻の部分が滑らか。

今度は口髭を蓄えた狛犬がお出迎え。銅板葺屋根の凝った造り、朱色の唐門は市指定の登録文化財。潜った正面が本殿。両側には多数の絵馬が奉納。東北における学問の神様、受験生の聖地だ。仙台で最も早く咲くと言われる梅も有名。

榴ヶ岡公園

榴ヶ岡天満宮の参道を出て、左へ。程なく榴ヶ岡公園にでる。17世紀後半、仙台藩四代藩主伊達綱村が京都より取り寄せた 1000本余りの枝垂桜をこの地に植えたのが発祥という花見の名所である。現在は枝垂桜を中心に、ソメイヨシノ、八重桜、ひがみ桜等、約 370本が植えられ、白、薄紅、ピンク色の競演を楽しめる。園内には芝生広場を中心に陸上のランニングコース、噴水、自由広場等があり、仙台市民の憩いの場となっている。

奥の白い建物は 旧日本陸軍の第二師団歩兵第四連隊兵舎、県内最古の木造洋風建築である。木造二階建て、寄棟造瓦葺、壁は漆喰塗りで、建物の角隅に石造りの装飾、硝子張りの上げ下げ窓や、洋風の円柱ポーチなどが、特徴とか。現在は仙台市歴史民俗資料館となっている。入館料は 200 円。館内は第四連隊の宿舎を再現したコーナーや、農村の台所、庭先の等の再現、駄菓子屋を再現した町場のくらしコーナー等、明治以降の民俗の変遷が体験できる。仙台の古地図を集めた企画展等も行われていた。

宮城野公園総合運動場

さて歴史民俗資料館を出たら、左方向へ、榴ヶ岡公園の東側の出口に出る。通りの右方向へ行けば、宮城野原公園総合運動場。左手の白い建物が仙台市陸上競技場。右手が東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地、クリネックススタジアム宮城だ。この辺りは、楽天のゲーム開催時はたいへんな賑わいとなる。1階のスタジアムストアではイーグルスグッズを販売している。この公園内には他に、県営のテニスコート、自転車競技場、相撲場まである。老朽化で寂れてはいるが、自転車競技場でバンクを駆ける練習風景なんぞを、のんびり眺めるのも面白い。この辺で疲れた方は JR 仙石線宮城野原駅でエスケープできる。さて、帰りは、楽天ファンの真似をして、宮城野通りを仙台駅方面へ練り歩いてよし。

政岡の墓

健脚はもう少し寄り道を。宮城野通り、サンプラザの角を左折、左手に COOP を見ながら、金勝寺の角を右折すると 政岡の墓 歌舞伎・浄瑠璃作品「伽羅先代萩」の主人公 政岡のモデルとされる 三沢初子の墓所である。明治以前は本殿、唐門、拝殿を備えた豪華な廟であったが、戊辰戦争の折、朝敵とみなされ取り壊された。その後、伊達家が神式の

葬祭に改められたため、現在の墓石が立てられたという。敷地内は鬱蒼と木々が生い茂り、この他、徳川振姫、稲葉仙姫の墓が並んでいる。入り口の鉄柵に鍵がかけられ、中は見学できないから、覗き見よう。ここも震災の影響、灯籠が倒れている。

隣のビルに政岡案内所とある。覗いてみれば、現在は休館しているようだ。ご利用の方は孝勝寺までとの張り紙が。これは孝勝寺に行かねばなるまい。

孝勝寺

すぐ隣の通りに出て仙台駅方向へ。この境界は新寺といい地名が示すとおり、仙台開府当初から続く大きなお寺の集積地である。城の鬼門にあたり、多くの寺院が集まり寺町をつくったとか。大通りを渡ると右手に孝勝寺の入り口。正門へは、もう少し先の信号を右折、東九番町通りを廻り込む。

参道に立つ。両側に石灯籠、中央に威風堂々とした山門、左手には立派な五重の塔が聳え、いと止む事無き雰囲気が漂う。山門を潜り、正面の本堂では震災復旧の工事をしていた。左手の五重の塔と本堂の間には釈迦堂。

13世紀末、大仙寺として創建。伊達政宗もたびたびこの寺で祈願し、勝利を得たことから、全勝寺と号を改める。その後2代藩主忠宗により、善勝寺、3代綱宗により孝勝寺と改められ現在に至る。2代忠宗の正室振姫、3代綱宗の側室で4代綱村の母三沢初子が帰依し、以後仙台藩の厚い保護を受けたとある。なるほど三沢初子と繋った。

17世紀末、綱村が三沢初子の冥福を祈るためと建てられた釈迦堂は仙台市登録文化財。

側に三沢初子の像が立つ。なお先ほどの政岡の墓は孝勝寺が管理する飛び地である。

中央の屋根のついた香炉の側。本堂に向っても、五重の塔に向っても、南妙法蓮華経とお唱え下さい。無量の功德が授かります。とある。ここでお参りして行こう。

山門を出て真っ直ぐ行くと仙台駅 ホテルはもうすぐだ。

所要時間の目安

	通常	健脚
ホテル～アンパンマンミュージアム	25分	15分
アンパンマンミュージアム～榴ヶ岡天満宮	20分	15分
榴ヶ岡天満宮～榴ヶ岡公園（歴史民俗資料館）	15分	10分
榴ヶ岡公園～宮城野公園総合運動場	13分	8分
宮城野総合運動場～政岡の墓	30分	20分
政岡の墓～孝勝寺	12分	7分
孝勝寺～ホテル	25分	15分
全行程	140分	90分

※所要時間にはアンパンマンこどもミュージアム、榴ヶ岡天満宮、榴ヶ岡公園、宮城野公園総合運動場、政岡の墓、孝勝寺の散策時間は含めておりません。

広瀬川から陸奥国分寺、連坊小路コース

広瀬川沿い遊歩道

東二番町通りを大年寺山コースと同じく長町方面へ、愛宕大橋の手前、ホンダドリームを左折する。さらに一つ目の信号「ふどうさん家」を右折、愛宕大橋と並行する小さな橋、愛宕橋を渡る。渡りきったところで、左折、広瀬川沿いの遊歩道を歩く。

左手に広瀬川の中州。以前は鬱蒼と木々が生い茂り、野鳥の楽園となっていたが、洪水を回避するための河川改良工事が進行中、今は、砂利と土砂の堆積地となってしまうている。爽やかな風を感じながら、暫く歩こう。真っ赤な目立つ橋が宮沢橋、この橋を潜ると5月の連休には、川幅いっぱい気持ち良さそうに泳ぐ鯉のぼりの姿が見られる。また、2009年より対岸では貸しボートの営業が復活した。暫く歩くと、コンクリートの護岸近くに木々の群生が見える。この辺りには鴨や水鳥が飛来、餌付けをしている人を見かける。

がんばろう閑上！

次の橋が広瀬橋、1909年、ここに日本初の鉄筋コンクリート橋が架けられた。現在の橋は1959年完成の鋼桁橋。この橋の手前左側を降りると河川敷の遊歩道。5km程で名取川の名取川大橋、この大橋を渡り、名取川沿いの土手の道を下ると約7kmで閑上へと繋がっている。震災前はロードバイクやインラインスケートを駆って、閑上からさらに仙台空港経由して、亘理まで行ったものである。

閑上は日本一の赤貝の産地。震災前にガイドを完成していれば間違いなく載せたであろう名店「なぐも」。赤貝丼、蟹ほぐし丼、焼き魚定食・・・港町ならではの新鮮な素材。震災直後、この店が心配で閑上へと急いだ。名取川を下ると海岸から3km付近で河川敷に津波の痕跡がみえはじめるが、家屋の被害はそれほどでもない。さらに近づく。と、東部道路を越えた途端、景色が一変した。田んぼの至るところに散らばる瓦礫と車、車、車・・・。大きな船までもが流れ着いていた。川沿いの遊歩道はアスファルトごと剥がされ、閑上市街に近づこうにも、倒壊した家屋により道が寸断され、断念。その後、度々訪れるが、壊れた家屋ばかり、道は交通規制がつづく。現在の閑上、重機による取り壊しが進む。高く積みあがった瓦礫の山。鎮魂の碑を供えた日和山だけが寂しそうに目に映る。なぐものあったらしい場所も土台を残すのみ。残念！がんばろう閑上！

河原町へ

さて、広瀬橋にもどろう。

疲れた方は、広瀬橋を渡らず右手の長町方向へ。市営地下鉄 長町一丁目駅に行き当たる。健脚はお付き合いを。広瀬橋を渡って左にカーブしながら大通り沿いを進む。しばらく行くと左手にツインタワーの高層マンション。そこの信号で大通りを反対の七十七銀行側に渡ると河原町商店街。ここを進む。タバコ屋の角を左折。大通りに出る。斜め左に、ジモ

チー御用達のケーキ屋さん「アマンディエ」。喫茶コーナーもあり、軽食もとれる。

陸奥国分寺

今回はこの大通りを右折。ちょっと遠いが、陸奥国分寺を目指す。通りを進み新幹線を潜り、斜め左に折れながらJRの踏み切りを渡る。しばし狭い道の住宅街ウォークにお付き合いいただき。途中、文化町、六十人町、三百人町といった変わった名前の町を通る。文化町は定かではないが、六十人町は幕末に足軽が六十名住んでいた町、三百人町は伊達政宗の時代に鉄砲足軽三百人衆が住んでいたことに由来するとか。さて、どこまでも進み正面に八百屋のあるT字路にでたら左折、続いて道なりに右に曲がり、一つ目の信号 木ノ下一丁目の交差点を右折、やっと広い通りに出る。左手に聖ウルスラ学院を見ながら進む。左手にこんもりとした木々が見えてくる。何やら歴史を感じさせる門構え。正面に藁で編んだ大わらじが掛かる。陸奥国分寺だ。創建は8世紀半ば、貞観地震でも被害を受けたとされる。何度か火災に見舞われ、当時の建物は現存しない。

現存する萱葺き屋根の仁王門、薬師堂は17世紀はじめ、伊達政宗により再建されたという。仁王門両脇の木像が面白い。上半身は痩せて肋骨が浮き出て、お腹だけがメタボ。珍しい仁王様だ。門を抜けると石畳、角が削れ足元がふらつく。歴史の重みを感じる一瞬だ。

右手に広がる礎石は廻廊跡。3列の柱の礎石が中央の石畳を取巻くように配置されている。さらに奥には七重の塔跡、土台部分が残る。周りにはこれまた2列柱の廻廊跡が見て取れる。934年雷による大火で焼失、頂点の相輪部分が地面に落下、地中深く逆さまに突き刺さったという。この境内いっぱいに広がる礎石も伽藍の一部。往時の伽藍、どれだけ大きかったのか？威容が偲ばれる。正面の薬師堂は国指定の重要文化財。装飾は極めて簡素かつ素朴、同時代の大崎八幡宮の華麗さと好対照をなす仙台を代表する桃山建築。

中には本尊として金銅製の薬師如来像。脇侍に日光菩薩像、月光菩薩像が立つ。毎年2月11日、七日堂修正会と言われる御本尊開帳法要が行われ、ほんの20秒程の間、厨子の扉が開き、薬師如来像が御開帳。その後、境内で願い事を書いた護摩木を焚き上げ、そのあとを素足で歩いて渡る、火渡り修行が行われる。

クリネックススタジアム宮城ふたたび

薬師堂に向かい左手の道を北方向に進むと、すぐに大きな通り、新寺通りに出る。信号を渡り、目の前に赤色の観客席が広がるクリネックススタジアム宮城を目指す。ここまできれば前掲の仙台駅東口コース同様、宮城野原総合運動公園を抜けて、JR仙石線宮城野原駅よりエスケープできる。

寄り道

さて健脚はクリネックススタジアム宮城を抜けて、宮城野大通りへ、前コース同様、サンプラザの角を左折、左手にCOOPを見ながら更に進み、新寺通りへ。歩道橋を渡り、さ

らに直進。交差点を1つ過ぎると左手、赤い庇にピンクの暖簾の和菓子屋さん「萩乃屋」。しょうゆ・あん・ごまダレの でんがく餅が美味い！ 豆餅、おはぎ もいけるぞ！
どれも素朴でシンプルだけど癖になる、昭和を感じさせる味。1個 105円
道路を隔てて松音寺、シーズンにはこの桜も素晴らしい。松音寺の脇を駅方向へ、暫く行くと大通りに出る。大通りを渡り左折、暫く歩道を歩くと、右手に いつも行列の絶えないラーメン店「中華ソバ すずき」。陸前落合の人気店 みずさわ屋の暖簾分け店。

連坊小路

さらに進み連坊 1 丁目の交差点を右折。連坊小路を歩こう。伊達政宗により復興された陸奥国分寺の門前に 24 の坊が連なり、これが由来とか。所々に むにやむにや通り商店街の表示まである。どことなく昭和を感じさせる商店街だ。右手に 薄焼きならぬ薄揚げごまチョリかりんとう の「甜菓堂」発見！これも昔懐かしい昭和の味。その他にも新幹線を潜ると 機械時計専門店「しのだ」…ほのぼのとした店が現れる。
右手にNTT宮城支社を見て、歩道橋を渡ると、程なく往きに通った東二番町通りの交差点 ホテルはもうすぐだ。

所要時間の目安

	通常	健脚
ホテル～愛宕橋	30分	20分
愛宕橋～広瀬橋	25分	15分
広瀬橋～河原町	15分	10分
河原町～陸奥国分寺	45分	30分
陸奥国分寺～クリネックススタジアム宮城	15分	10分
クリネックススタジアム宮城～松音寺	40分	25分
松音寺～ホテル	45分	30分
全行程	215分	140分

※所要時間には陸奥国分寺、クリネックススタジアム宮城等の散策時間は含めておりません。

国分町縦横無尽

国分町概論

ここで言う国分町とは、定禅寺通り、広瀬通り、一番町四丁目のアーケード街と晩翠通りに囲まれた一帯の歓楽街を指すこととしよう。

その昔、陸奥国分寺の門前町の住民が、仙台築城の際に集団移転。江戸時代には奥州街道沿いの商業地・宿場町的趣であった。明治維新、官軍の入場とともに遊郭の町となる。

その後、遊郭が軍の施設の移転とともに仙台駅東口、榴ヶ岡近辺に移ると、料亭や芸者の置屋を中心とした歓楽街に姿を変えた。昭和40年代の高度成長期、仙台の人口増加とともに飲食店ビルが建ち始め、花柳界の街から庶民的な歓楽街へと変貌を遂げたのだという。

現在は3000軒もの飲食店がひしめく、東北随一の歓楽街。

震災直後の国分町、夜な夜な路上に、焼き鳥、おにぎり、味噌汁・・・怪しげな露店が現れる。何やら闇市を彷彿させる様相。寒空の中、開いている店はないか？と彷徨い歩く。都市ガスの復旧がままならない中、どこから調達したのか？炭を起こし、プロパンガス、カセットコンロ、有り合わせの食材で営業再開！ 国分町は逞しかった。

やっとたどり着いた一軒。注文は一人2品まで、お持ち帰り用のパックが重宝がられていた。近未来の食糧危機を疑似体験？ そんな闇市的カオスも今は昔、国分町はいち早く復興、東北の元気を牽引しているかのようだ。

今や、東北に集まる人々のエネルギーを吸収して已まない不夜城、国分町を闊歩してみよう。

歓楽街の中には一番町四丁目アーケードと晩翠通りに挟まれて南北の縦のラインが3本、東から稲荷小路、国分町通り、東北公済病院通り（※正式な通り名が無いため、あくまで仮称、今後このパターンは（仮称）と表示）。

定禅寺通りと広瀬通りに挟まれる東西のラインが5本、北から第三協立ビル通り（仮称）、元鍛冶丁通り、ナイタービル通り（仮称）、虎屋横丁～本櫓丁通り、七福通り。

其々が一方通行。タクシーでのアプローチには気をつけよう。

ジモチーは、主な通りのビル名を覚える。タクシーで「分チョー、〇〇ビル」なーんて言えたら、あなたもジモチーの仲間入りだ。

稲荷小路

さて、個性派のお店の宝庫、稲荷小路から行ってみようか。稲荷小路を広瀬通より定禅寺通りに向け北上しよう。一方通行を逆行することになるが、この通り、夜の時間帯、車は通行止めなので問題あるまい。まずは入り口左手19フジビル7階、何かと私の紙面を賑わす、ワインバー「RB」。つづいて右手第三藤原屋ビル1階、人気の板前割烹「花板」日曜日もやっている。隣接する1階 人気のワインバー「ボンヌプラス」。第五吉岡屋ビル2階には 牛タン「味楽」。虎屋横丁を過ぎてすぐの左手路地に入ると、国分町締め一杯 24

時間営業長浜ラーメン「一閃閣」。さらに進んで左手、FOX-Bビル2階、仙台NO1バーとの呼び名も高い「ルバーカワゴエ」こちらも日曜営業。元鍛冶丁通りを越え、少し行った左手、ジモチー絶賛、超人気居酒屋「阿古」。さらに進んで右手、地元超有名店「おでん三吉」を見れば定禅寺通りに至る。

国分町通り

次は目抜き通りの国分町通り。広瀬通りから定禅寺通りへの一方通行。この通りはお食事処というよりは、家賃が高い分、高級クラブが幅をきかす。

まずは右手、第二藤原屋ビル地階、せつ子ママの店、超人気高級クラブ、個室でカラオケも歌える「ピロポ」。虎屋横丁を越え、右手YS21ビル1階、姫ラーメンの奥には、ママさん御用達、小料理「いわさき」。隣のエムロードビル3階には、在仙支店長、支社長族御用達、超人気高級クラブ「フェアリー小原」。

その隣ピースビル5階、チョイ悪オジサン御用達、超人気クラブ「ノア」。左手に渡って、センカンプラザビル3階、こぢんまりとした個性派クラブ「イル・ソシオ・ドルチェ」。

右に移って、邦栄ビル3階、有名クラブ「わくわく」。同フロアに、手ごろなスナック「ノアール」、カラオケの貸切個室もある。隣の丸伊プラザビル4階、こちらも有名高級クラブ「ORO・ORO（オロオロ）」。

元鍛冶丁通りを渡った角には葉巻も売ってるタバコ屋「ながせ」、右手にクラブ、スナックの集積したグランパレビル、左手にライオンビル太陽館を見ながら定禅寺通りに至る。

定禅寺通り

定禅寺通り角、仙台リッチホテル国分町2階、“ととや”から独立した村上さんの店「BISUIはんぞう」。定禅寺通りを西方向へ、定禅寺パークビルディング1階には、言わずと知れた超有名クラブ、せつ子ママの店「ラドンナ」。

第三協立ビル通り（仮称）

東西横のライン、第三協立ビル通り（仮称）は三越方面から西への一方通行。タクシーの時は、東二番町の大通りから三越の本館、新館（旧141）の間を通過してのアプローチとなる。

三越方面から国分町通りを越えると、左手に第三協立ビル、1階は私の一押しすし屋、「すし蓑」。2階に海の幸の居酒屋「勝也」。斜め向い右手の小島ビル1階、蕎麦で締められるワインバー「シェ・ゴメ」。

元鍛冶丁通り

元鍛冶丁通りは晩翠通りから三越方面への一方通行。タクシーには凱旋門ビルの通りで通じる。左手の凱旋門ビル1階、私のガイドブックのトップを飾る「萬み高橋」。右手は元鍛冶丁公園、ここでしばしばコンサート等のイベントが行われる。さらに三越方面に進んで

左手グランドハマユウビル2階、こぢんまりとしたクラブ「グライエ」。

ナイタービル通り（仮称）

続いてナイタービル通り（仮称）、西から東への一方通行。東北公済病院通り（仮称）から入ってすぐ左手、南條ビル1階、コストパフォーマンスが程よいと人気の割烹「ととや」。隣は店主が釣った魚も売り物「いそ藤」、舌に吸盤が吸い付く蛸の刺身も味わえる。少し進んで、左手レインボーステーションビル1階、何故か静岡おでん「だいすけ」。

虎屋横丁～本櫓丁通り

虎屋横丁、夜は車進入禁止。一番町四丁目アーケードから入ると、左手2階、仙台における肉料理の決定版、炭火焼ステーキ「大胡椒」。右手にスタイリッシュ韓国料理「伽耶」。隣の地階に隠れ家ダイニングバー「シズクトウヤ」。国分町通りを越えると本櫓丁通りに通り名が変わる。国分町通りから晩翠通りへの一方通行。右手のアンデルセンビル1階、生の鯖が美味しいと評判の居酒屋「桃水」。

七福通り

七福通りは西から東への一方通行。右手の黄色いレモンシャトー1階奥、国分町締めのあるバー一押し、カツサンドも美味しい「バット ジュニア」。左手ゴロク壺番館1階、リーズナブルで手の込んだ料理と評判の「いち道」。

東北公済病院通り（仮称）

この通りは広瀬通りから定禅寺通りへの一方通行。タクシーでは七福通り、ナイタービル通り（仮称）、元鍛冶丁通りへのアプローチとして欠かせない。ナイタービル通り近く、左手に、飲む前のリフレッシュ、温泉サウナ「キュア国分町」、第三協立ビル通り（仮称）近くの左手、瀬戸ビル1階 牛タン「司」本店。がある。

疲れませんか？こんな具合に国分町縦横無尽でした。

ご予算の目安

居酒屋 6,000～7,000 円

スナック 8,000 円程度

クラブ 12,000～18,000 円（ボトル代別）

番外編

たとえばMTBで

青葉山に登る

東北大川内キャンパスを通り、青葉山に登る。鳥の囀り、木漏れ日を浴びながらのヒルクライムは、多少の負荷も忘れさず心地良さ。右手に東北大理学部、自然史標本館等の立派な建物群をみながら進む。工学部等のある青葉キャンパスとの交差点を越えると、左手に地下鉄東西線青葉山駅の工事が進んでいる。やがて視界が開け、何やらフェアウエーや茶屋の痕跡が。嘗ての仙台カントリークラブ跡だ。ジモチーから良き時代を惜しむ声が聞こえてきそう。

さらに進むと、右手に青葉の森への入り口が数箇所、三居沢までの下りは絶好の散策コース。こちらはMTB進入禁止、ウォーキングの遊び場です。

熊出没注意の黄色い看板を見ながら暫しの登り、やがて左手に青葉山ゴルフ練習場、ここを頂点として下りとなる。程なく、バス停の終点青葉台、回転場にでる。

青葉山周辺は秘密の遊び場

真っ直ぐ進み、鉤取山野鳥の森の案内看板を越し、右手に降りれば、東北工業大学グラウンド。車で訪れる向きには、この看板前とグラウンド脇に若干の駐車スペースがある。

その先は、金剛沢治山の森、鉤取山治山の森が広がる。ヒヨドリ線、カッコウ線、ツバキ線・・・鳥や花の名前のついた散策路が18路線、気軽に森を満喫してくださいと言わんばかり。鶯を愛で、蝉時雨を浴びる。紅葉に戯れ、鹿や熊？の気配を感じる。途中には配水管に沿った長〜い階段登りや、何やらUFOの秘密基地？と見紛うばかりの鉤取山配水所もあるぞ。太白山自然観察の森と合わせ、縦横無尽に駆け巡り、四季を肌で感じる快感に浸ろう！

不思議なことに、これだけ都会に接しているながら、人と出会うことがめったに無い。

ここは秘密の遊び場だい！

斯様に青葉山周辺は魅力満載、アンチエイジング用のエクササイズに使われているだけでは勿体ないぞ。若者よ大志を抱け！

ここから、八木山南方面に降り立った場合は、動物公園方面へ再び登り返し右折、青山にある「手打蕎麦 みずき」でランチと行こうか。香り、喉ごし、汁とも私のお気に入り。

岩魚まるごとの天ぷらもお勧めだ。昼のみの営業、売り切れ仕舞い。

上野山方面の場合は、旧286号線沿い、薪釜のパン屋さん「オーフルニルデュボワ」を目指そう。ただし震災後は電気オープンに変わってしまった。残念！

折立へ

さて、今回は寄り道せずに、先の青葉台バス回転場を右折、折立を目指す。
溜め込んだ位置エネルギーを発散しよう。気持ち良いダウンヒル。ただしカーブには気を
つけること。ここは西道路の裏道、車の往来が多い。調子に乗って飛ばしすぎると痛い目
に…。私のごとく右手小指不治の複雑骨折なんぞには、くれぐれもなりませぬように。
左手に東北自動車道を見ながら、さらに下る。下りきったところでトンネルを左折、
郷六から折立に至る。

蕃山の北面、麓に広がる折立 5 丁目地区は震災で甚大な被害を受ける。
大梅寺裏参道付近、蕃山雪山ハイクの下山路として、私の馴染みの場所であったが、盛り
土の部分が地滑りを起こす。傾いた住宅数知れず、今でも危険張り紙が…。主を無くし寂
しく佇む。ズレ落ち亀裂の走る舗装路、所々積みあがった土嚢が痛々しい。
津波以外にも甚大な被害があったことを忘れてはならない。ただただ一日も早い復旧、復
興を願うのみ。

愛子大仏

折立の交差点から国道 48 号線沿いに、生瀬橋を渡り左折、幅の狭い舗装路を権現森の南麓
を巻くように進む。左手、木々の間から見え隠れする広瀬川の流れが心地よい。やがて陸
前落合から泉方面への大通りと合流。1 つ目の信号を泉方面ではなく、斜め左手に大東岳を
見ながら、県道 55 号線を真っ直ぐ赤坂方面へ丘を登る。

真っ直ぐ行くのが常道だが、途中、右手にお酒・タバコ屋が見えたら斜め左に、蔵王連山
を臨みながらのダウンヒル。里山の農村風景を抜け、竹林の合間に広瀬川を垣間見ながら、
再び登り返すのも面白い。

元の道に戻り、見事な枝垂れ桜を右手に暫く行く。カーブを曲がると、突然左手に避雷針
をつけた異様な仏体発見！ これは愛子大仏。高さ 15 メートル、愛子の丘に下界を見下ろ
しながら鎮座する。側、ふた昔前のケーブルカーを髣髴させる黄色いモノレール仕立ての
乗り物が面白い。名をナムナム号と申すそう？ 乗車料は 1 回 10 円成。ここでお参り
していこう。

定義山

この道はやがて大倉ダムを經由して定義山へ通ずる。定義山は平家落人伝説の残る、定義
如来、西方寺の門前町。縁結びや安産にご利益があるとか。ジモチー御用達、三角油揚げ
が有名、焼き飯と言われる焼きおにぎりもある。大倉ダムと合わせ、ジモチーの気軽なド
ライブスポット。MTBでも昼飯がてら訪れるのに丁度良い。ただし、現在は大雨の崖崩
れで途中通行止。道幅の狭い山道の入口はバリケードで塞がれていた。残念！

ちなみに、大倉ダムから作並方面へ、ニッカウキスキー仙台工場も面白い。ウイスキーの
製造過程を見る工場見学は定番として、途中の鳳鳴四十八滝の他、工場中央の広場より、

よく見えるゴリラの横顔そっくり！ゴリラ山も見逃せないぞ！

そば民家発見

さて今回は寄り道無しとして、

已む無く、何故か龍の像が睨みを利かす、赤坂ニュータウン入り口の交差点を右折、左手に泉ヶ岳を見ながら、気持ちのよいダウンヒルを楽しむ。

赤坂中央の信号を越え、次なる信号赤坂東入口交差点。ここで左手に大当たり「そば民家伊達」発見！ランチタイムとしよう。

美味しい胡麻汁そばなんぞで胃の府を癒した後は再びダウンヒル。直線が何処までも続く、ペダルを漕がなくて軽く 50 km/h 越えだい！

権現森から南吉成へ

前面に広がる権現森の麓を目指す。やがてT字の交差点に行き着き、右折、直ぐ、左手のセブンイレブンを巻くように権現森の北面を登り返す。幅の狭い舗装路、車の往来が多いが、ひたすら登る。活牛寺を越え、登りきり、今度は南吉成方面へ下る。

やがて東北自動車道を越え、住宅街の広い道となる。県道 37 号仙台北環状線を越え、左折、赤白ツートーンのアナテナ、NTT東北ネットワークセンター目指して最後の登り。

登りきり国見峠を右斜めに入れば、妙法寺、仏舍利塔。本体のドーム部分までが、18.3メートル、天辺までが 30.5メートルの立派な塔。正面に狛犬ならぬ、尻尾の長い白ライオンが鎮座、塔には 4 体の金色に塗りこめられたお釈迦様が安置されている。塔に登ると、昔は仙台市街が一望できたような。現在は木々が茂り、往時の眺望は望めない。

豪快なダウンヒル、市街へ

さて、寄り道もそこそこに、ここからクライマックス。溜め込んだ位置エネルギーを一気に発散しよう。仙台市街、仙台湾を一望する豪快なダウンヒル。私の一押しスポット。スピードはイッキに上がり、車と競争しながら駆け降りる。くれぐれもブレーキングポイントには気をつけよう。国見浄水場を越え斜め左へ、仙山線を潜り、信号を左折し道なりに、下りきったところを右折。真っ直ぐ、途中、幅の狭い道を進み、大崎八幡宮の東側を通り、国道 48 号線に至る。ここまで来れば、ホテルはもう直ぐ。

仙台市中心部に舵をとり、どの道で帰ろうか？

宮城県美術館でも寄っていくか？ 昼の国分町を駆け抜けてみるか？ 県庁裏の「ルタンリッシュ」でカンパーニュでも買って帰ろうか？ 寄り道無しなら 約 33 km 2 時間
楽しみはお好み次第！

食通の道 どうやって究める？

「ミシュランガイド東京二〇〇八」は手抜きだと思ってる。食通を気取る友人から「フオア料理店の世界的な格付け本の東京版として〇七年に出た。百五十店を三段階で評価してい

野口 育男さん(47) 仙台国際ホテル総支配人

「調査員が偏った情報で採点している。文句なしの店が取り上げられなかったり、掲載に値しない店が載ったりし、信頼度は50%にとどまる」

食には一語ある。

逸問 一答

麻布で名の通るフランス料理店に片っ端から通った。行った店は案内本の目次に「撃墜マーク」を付けた。
東武鉄道に入社し、食べ歩きが本格化する。二週に一回、フルコースで一人一万七千円。ワインも空けるし、同伴者の方も持つ。「月給のほとんどが胃に消えた」
仕事は希望通りホテル部門

食べ歩き重ね 微妙な差別別

「敵情視察」と称し、一流ホテルの料理店巡りが加速する。撃墜マークは五年で百を超えた。空を飛び、本場パリの店にも印を付けた。和食や中華な

どの分野にも手を伸ばした。場数を踏めば舌も肥える。火の通し方、塩使い、舌触り。微妙な違いを区別する味覚を身に付けた。

食べ歩きを重ねると、店の対応がいちげんさんと常連客で違うことに気付く。同じ肉料理でも、なじみ客なら上等な部位が出る。

「撃墜マークを増やすことが



のぐち・いくお 埼玉県越谷市出身。1983年に東武鉄道に入社した。90年に東武ホテルに出向。宇都宮・千葉・成田、東京・高輪、札幌、東京・錦糸町のホテル5棟の開発と運営にかかわる。妻(47)と長女(18)の3人家族で、仙台では単身で暮らす。連絡先は022(268)1111。

報道部・伊藤 寿行
写真部・岩野 一英

も知っている。

「？」

「これだという店を決めて通い詰めることにした」と、お客道を究める方向へ転換する。料理人の顔が見えることが第一の条件だ。「僕の好みを知るシェフが僕のために作ってくれていると実感できる店がいい」。調理場は弟子に任せ、本人は事務的な仕事をこなす。仙台国際ホテルの総支配人に就任したのは二〇〇七年二月に就いた。四十二億円の負債を抱え、清算した直後だ。親会社の東武グループから再建の請負人として送り込まれた。

バブル期の開業で殿様商売が染みついていて、書き入れ時に休みを取る幹部がいる。「自分の都合でなく客の都合で動く時は素材と産地と調理法を客に説明するよう言っている。人は脳で食べる。情報が頭に入らないと料理の価値が分からない」

食べ歩きは仙台でも。指を折り、お褒めの店を挙げた。そのうちの軒は自分のホテルのフランス料理店だ。

取材の終わりに「これまでいくら飲食に使いました」と尋ねた。「妻が知ったら卒倒するのですね」と笑った。

平成22年(2010年)1月26日(火曜日)

仙台国際ホテル総支配人が編集 お薦め和・洋・中30店ガイド冊子に

美味杜の都食へ歩き



冊子を手「仙台の料理店の水準は低い」と語る野口さん＝仙台国際ホテル

仙台市青葉区の仙台国際ホテルの総支配人野口育男さん(49)が食へ歩きとして気に入った市内の飲食店を紹介する冊子「総支配人がご案内する杜の都の食へ歩き」をまとめた。2008年に出した初版の改訂版で、約30軒の店のお薦め料理を掲載。客室に備え付け、宿泊客に案内している。紹介し、「旬の素材のうま味を生かした料理。無駄な飾り付けをせず、シンプルで和食、フランス料理、ワインブルな引き算の料理は、芸術的」。「マスターはブ

「一度のぞいて」

野口さんは「仙台は三陸産の海の幸の宝庫で、鮮度のいい状態で味わえる。いい店の料理人の腕と心意気は東京と比べても見劣りしない。冊子をと客の心得もアドバイスする。予算の目安や地図を記し、番外として自分のホテルのレストランも載せている。冊子は基本的には宿泊客向けだが、希望者には無料で譲る。連絡先は仙台国際ホテル022(268)1111。

配人になったのは07年で、親会社のある東京から仙台に来た。食へ歩きは仙台でも重ねた。宿泊客に店を紹介しようと、初版を出した。ホテルの利害関係を抜きにし、自信を持って薦められる店を掲載したという。客に好評で、昨年11月に改訂した。対象店を約10店増やし、新しい情報を盛り込んでいる。